

氷上に賭ける青春 去逝この主夫(世)体育会競技スキー部

法学部学生 坂本 滋

(本部新任者の紹介)

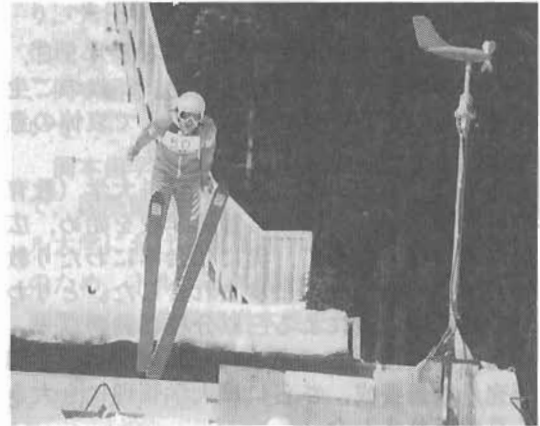


はじめまして、スケート部です。一般の方々は一口にスケート部と言っても、具体的な活動内容をご存じないと思いますので、ここで紹介させていただきます。我が部はアイスホッケー部門とフィギュア部門に分かれており、両部門ともヒロシマアリーナで練習しております。部員のほとんどが初心者であるにもかかわらず、フィギュアからはしばしばインカレ出場を果たしていますし、ホッケーに至っては、一昨年、初のインカレ出場を果たし、部員の意気も揚がっているところです。

我が部は、前述のように部員のほとんどが初心者ですので、毎年4～5月頃リンクでは、新入部員が上級生に教を乞いつつ、転びながらも必死に氷に慣れようと悪戦苦闘している姿が見られます。それが、11～12月頃にはもう上級生と見分けがつかない程の上達を見せる者さえいます。毎年のことながら、大学に入るまでは、ろくにリンクも見たことのない連中が少しずつ氷に親しんでいき、スケートを好きになっていく姿には、どこかほほえましいものがあります。

こんな部ですが、みなさんが我々をどんな形でも声援していただければ幸いです。

理学部学生 永田 高寿美



スキーといえばウィンタースポーツの代名詞ですが、僕らがやっているのは競技スキーというものです。これには、アルペン、クロスカントリー、ジャンプ、とあるのですが、僕らもクラブ内にこの3つの班を設けています。練習は各班ごとにメニューを組み、夏はサッカー、バスケット等を折り混ぜた陸トレを、冬は信州、北海道の美しい雪景色の中でスキーをします。部員は皆気のいい者ばかりで、和気あいあいと楽しくやっています。

ところで、競技というからには当然試合があるわけですが、このときは皆ものすごくそれに集中します。そして“勝利”の2文字に向かい一丸となってつき進みます。普段の練習も決して楽ではありませんが、“勝つ”事への思いと仲間の笑顔が自分を支えてくれます。今、僕らは、インカレ3部、全関西1部という強者達の中で戦っているのですが、その中で、戦う事の厳しさ、勝つ事の難しさ、人と人とのつながり、友情のすばらしさ、を学んでいます。

とにかく、我がスキー部は、相対的にはではなく、絶対的にすばらしいクラブです。